

## 山武市子ども・子育て会議（令和2年度第1回）要旨

日時:令和2年8月24日(月)10時00分～11時00分

場所:山武市役所 第5会議室

出席者:委員 18人/20人

事務局 13人

傍聴人:なし

進行:子育て支援課主幹

議事進行・会長

### 議事結果

(1) こども園の受入れ月齢変更について ……了承

### 報告事項

(1) 第2期山武市子ども・子育て支援事業計画について  
……………了承

敬称略

### 1. 開会〔進行〕

#### 会議成立の報告〔進行〕

(委員20名中18名出席。会議条例第6条により、過半数を超えたので会議開催。)

### 2. あいさつ〔会長〕

### 3. 議事〔会議条例により議事進行:会長〕

#### (1) こども園の受入れ月齢変更について〔説明:子育て支援課〕

(資料1「山武市立こども園の受入月齢引き下げについて」に沿って説明)

現在、山武市立こども園では生後10ヵ月を迎えた日の翌月の11ヵ月目の乳児から受け入れをしている。市内の私立保育園では、生後57日を迎えた日の翌月の3ヵ月からの受け入れを実施している。

この度、令和3年度の受け入れ月齢を、生後6ヵ月を迎えた日の翌日の7ヵ月目からに変更しようとして検討したもの。理由としては、周辺の市町では、大網白里市が満6ヵ月、東金市及び芝山町が満7ヵ月、九十九里町が満8ヵ月と、受け入れ月齢が低い市町が多い状況となっている。

また、入園を希望する保護者からも受け入れ月齢の引き下げの要望もいただいている状況にあり、これらを踏まえ、令和3年度から受け入れ月齢を引き下げ、子育て支援の充実を図って

いく。よって、市内で満6カ月の乳児が入園できる施設は、私立保育園3園とこども園5園を合わせて8園となる。

定員については、令和2年度当初の0歳児の入園者数は、定員18名に対し5名と、定員に対し余裕があり、入園希望における待機児童は発生していないことから、定員の変更はせず、私立保育園等との連携を図りながら、令和3年度においても現在の定員で受け入れする予定である。

#### ・内容への質問、意見

Q〔委員〕引き下げになったことは良かった。育児休暇を1年くらい取られている方が多いが、祖父母と同居している世帯でも、祖父母が就労していて子育ての協力が得られない状況もあると思うので、今後、産後休暇明けに保育が受けられる状況に近づけていただけたら良いと思う。

Q〔委員〕6カ月に引き下げたのは一つの成果。働いている母親からは、3カ月からが最も求められているところであると思う。保育士の人数や関わりについて問題点がでてくると思うが、6カ月からの受入れで手一杯なのか。現段階で3カ月からの受入れは厳しいのか。

A〔子育て支援課長〕私立保育園3園で産休明け3カ月からの受け入れをしているので、連携を取りながら必要性の状況により検討していきたい。

まずは、私立保育園での受け入れを充実させていきたいと考えている。

受け入れを10カ月から6カ月にした場合、離乳食から始める形になるので、保育士の離乳食の対応についても研修等で徹底させていきたい。

Q〔委員〕他の母親からの意見で、仕事の時間によって子供を預けられる時間が変わってくるという話を聞いたが、預ける時間について変更があるか。

A〔幼保こども園係長〕こども園で預ける際の基準についての変更はない。保護者の働く状況によって判断している。勤務時間や通勤時間をみて判断となるので、働く状況について相談いただきたい。

Q〔委員〕子どもが3人いるが、週3日で働いているのを週5日に変えた。家庭によってはどれくらい働きたいかがあるので、そういった状況も知っておいていただきたい。

#### 4. 報告事項

##### (1) 第2期山武市子ども・子育て支援事業計画について〔説明：子育て支援課〕

平成30年度に行ったニーズ調査をもとに、令和元年7月29日開催の会議より、第2期山武市子ども・子育て支援事業計画の策定を始め、10月28日の会議にて計画骨子案と量の見込みの検討を行った。

また、12月26日の会議では、計画素案と目標量の確保方策の検討を行い、これに対し

て、市民からの幅広い意見も伺うため、2月3日から3月3日まで、計画素案のパブリックコメントを実施した。

その後、計画案を承認いただくための会議を開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で、書面にて委員の皆様へ承認をいただく形をとり、結果として、20名全員の承認をいただいたので、変更等もなく計画案の内容で、計画の策定へと至っている。

今後は、この第2期山武市子ども・子育て支援事業計画にて、基本目標を3つに掲げた、各基本施策に基づいて事業・取り組みをしていく。

また、基本施策ごとに成果指標をかかげており、こちらに対しての点検・評価等を、子ども・子育て会議において行う。予定としては、毎年7月ごろに前年度中の内容について点検・評価の会議を開催していく。

また、令和4年度に山武市総合計画の見直しがあるので、これに併せて成果指標の見直しを行うため、5年の計画期間があるが中間見直しを行い、子ども・子育て会議にて協議していく予定である。その他、協議事項があれば子ども・子育て会議を開催するので、委員のみなさまのご協力をお願いしたい。

1期の子ども・子育て支援事業計画が昨年度末で完了しているため、こちらの取り組み結果を次回10月予定の会議にて報告をさせていただきたい。

#### ・内容についての質問意見等なし

### 5. その他

Q〔委員〕子育て支援センターでコロナ対策中であり、通常の利用が難しいのはわかるが、曜日や時間を指定する等、利用状況について検討いただきたい。

A〔幼保こども園係長〕コロナウイルス対策で安全に利用いただけるかを検討しながら開所している。安全面を考えての状況なのでご理解いただきたい。

Q〔委員〕国の10万円の給付金について、早めに対応いただいてありがたい。

支給対象について、4月27日までに出生した子供に対しては給付等対象となるのか。新聞等だと各自治体で対応が異なるようだが、山武市での状況はどうか。

A〔健康支援課長〕給付金についての資料を用意してあるので、ご覧いただきたい。

子育て関係では、山武市妊婦支援給付金が該当となる。国の給付金は4月27日に住民登録台帳のある方だが、山武市では4月27日で妊娠している方としており、出産予定日が令和3年1月24日までの方が対象となる。

申請は7月に締め切っているが、116名の申請があった。市独自の事業なので、市税等滞納の無い方へ支給となる。

Q〔委員〕コロナ禍で、テレワークやオンライン授業等が進んでいるが、山武市ではICTを活用した子育て支援等の検討はあるのか。

また、地域の支援としてできることを考えると、Web会議システムがあると便利だが、地域でもそういった取組みがあれば教えていただきたい。

A〔学校教育課長〕小学校・中学校としては、山武市は他自治体よりICTについては進んでいる。3月からの休校中でも、インターネット環境を使ってドリル学習ができるよう環境を整えていた。家庭によってインターネット環境が整っていないことが問題となるため、学校によっては状況を調べて、授業の動画や学校の様子をYouTubeで配信しているところもある。

今後、国の補助で一人1台パソコンを今年度中に支給し、各家庭の状況によっては無線環境の支援をする方向である。

また、Zoomの研修を夏休みからすべての小・中学校で行い、学校と家庭間でのWeb授業等を活用していくための準備をしている。

Q〔委員〕大学の授業で学生からの要望で、対学校とではなく学生同士でつながりたいとの意見があった。つながりの授業があるため学生同士の交流ができるようなシステムが展開できるとよいと思っている。

A〔健康支援課長〕山武市では、現在YouTubeの準備段階で9月頃から開設を予定しており、これに併せて、赤ちゃんの沐浴等の動画配信をしていくことで母親支援の準備をしている。

A〔子育て支援課副主幹〕オンラインの取り組みとしては、子育てアプリ「母子モ」を2月から導入している。市から特定の方に情報提供できるよう、地域別・年代別等の必要な方に必要な情報を提供できる体制を取っている。

Q〔委員〕市からの情報配信に関しては充実しているようだが、双方で相談しあえるようなWeb会議システムのような環境も必要ではないか。予約制にする等して検討いただくと助かる人もいると思う。

A〔子育て支援課副主幹〕今後も、市として利便性が向上するよう検討していきたい。

**他連絡事項なし 会議終了**